

中古車輸出拠点機能充実強化事業「オセアニアプロモーション」オーストラリア訪問

大阪府港湾局経営振興課経営振興グループ

中古自動車は堺泉北港の主力貨物の一つで、堺泉北港の中古車の輸出量は日本全国で第3位(平成29年実績:約16万3千台)、オーストラリア向けでは全国1位の輸出量(同約2.5千台)を輸出しています。また、同国では平成29年10月に自国内における自動車生産を終了しており、人口は、堺泉北港にとって最大の輸出相手国であるニュージーランドの5倍以上であることから、輸入中古車の需要が拡大していくことが期待されています。

そこで、平成28年度から実施している「オセアニアプロモーション」の第3弾として、平成30年11月11日(日)～同月16日(金)の日程で、堺泉北港における中古車関係事業者等の総勢12名からなるミッション団(団長:福井淳太大阪府港湾局長)を結成し、オーストラリアはビクトリア州メルボルンを訪問しました。

昨年度のプロモーションで協力関係を構築した豪州中古車輸入協会(AIMVIA)の総会及び情報・意見交換会に参加し、オーストラリアの中古車輸入に対する規制内容とそれらの規制緩和に向けた働きかけなど、協会としての活動状況や今後の方向性等について伺いました。

メルボルン港では、検疫を所管する連邦政府機関である農業・水資源省(Department of Agriculture and Water Resources)の検査官による車輛検査の実施状況を見学しました。また、同港が有する広大な自動車保管ヤードなども併せて見学し、自動車輸入に対する十分な体制が整っていることが確認できました。

各訪問先では、参加いただいた中古車輸出販売業者や検査会社、物流会社などから積極的な意見や質問があり、併せて、堺泉北港がいかに充実した中古車関連施設をもち、検疫や輸出前検査に熱心に取り組んでいるかをPRしました。

他にも、堺泉北港から輸出された中古車を実際に販売している店舗や、世界10か国で自動車のインターネット販売を行う企業、豪州経済、特に自動車市場についての調査・研究・コンサルティングを行う企業を訪問し、オーストラリアにおける中古車の取扱いフローや中古車市場の現状について理解を深めることができました。

今回のプロモーションでは、堺泉北港の中古車輸出に関する取組みをPRする一方で、厳しい中古車輸入規制の背景と言われる労働者の雇用問題や輸入中古車の安全性に対する懸念といったオーストラリアへの中古車輸出の拡大に向けた課題も見えてきました。同国において、これらの課題を解決していくには息の長い取組みが求められます。

今後も、オーストラリアに限らず、様々な輸出相手国側のビジネスパートナーとの良好な関係を構築しつつ、堺泉北港の中古車関係事業者にとっての利便性向上により、同港の中古車輸出事業の拡大を図って参ります。



AIMVIA総会に参画(情報・意見交換会)



メルボルン港視察



Import Revolution訪問



メルボルン港におけるDAWR検疫検査デモ見学

■ オーストラリアでの主な訪問先

訪問日	訪問先
11月12日(月)	在メルボルン日本国総領事館 AIMVIA(中古車輸入協会)総会、情報・意見交換会
11月13日(火)	Department of Agriculture and Water Resources(農業・水資源省) Deloitte Motor Industry Services(市場調査・研究・コンサルタント会社)
11月14日(水)	メルボルン港 MIRRAT(メルボルン港自動車保管ヤード運営会社) Department of Agriculture and Water Resources(農業・水資源省)による検疫検査見学
11月15日(木)	carsales.com.au(自動車インターネット販売会社) Import Revolution(RAWS中古車販売会社)